

表現基礎(構成)

選 択

開講年次：1 年次後期

科目区分：講義 + 演習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：図形、色、文字、構成に関する基礎的知識・技術を、道具を用いた作画・着色の体験を通し修得することで、表現活動に必要な思考・描画の能力の向上を図る。

■**到達目標**：①図形、色、文字、構成に関する基礎的知識を理解することができる。
②図形、色、文字、構成に関する基礎的技術を理解し、向上することができる。
③図形、色、文字、構成に関する知識・技術を生かした応用表現ができる。

■**担当教員**：

◎福田 大年、金 秀敬

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 導入1 かたち・色・構成／共有・振り返り
第 2 回 導入2 文字・構成／共有・振り返り
第 3 回 練習1 作図・着色
第 4 回 練習2 作図・着色
第 5 回 練習3 作図・着色／共有・振り返り
第 6 回 練習4 調色・構成
第 7 回 練習5 調色・構成／共有・振り返り
第 8 回 練習6 欧文書体の文字組
第 9 回 練習7 欧文書体の文字組／共有・振り返り
第10回 練習8 日本語書体の文字組
第11回 練習9 日本語書体の文字組／共有・振り返り
第12回 本番1 図形、色、文字を使った構成表現
第13回 本番2 図形、色、文字を使った構成表現
第14回 本番3 図形、色、文字を使った構成表現
第15回 本番4 図形、色、文字を使った構成表現／共有・振り返り

■**教科書**：なし

■**参考文献**：・三井秀樹（2006）「新構成学」六耀社
・白石学 編（2016）「かたち・色・レイアウト 手で学ぶデザインリテラシー」武蔵野美術大学出版
・藤原大（2013）「Color-Hunting 色からはじまるデザイン」トゥルーリング株式会社
他、必要に応じ講義内で紹介する。

■**成績評価基準と方法**：以下の評価方法と割合によって総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
制作・提出物	◎	◎	◎	道具による制作を通して、思考・描画の能力向上への試行錯誤が作品から感じられる	50
授業態度	○	○	○	真剣に挑む姿勢	30
共有・振り返り	○			課題の意図を理解し、自省・相互評価できる	20
出席				2/3以上の出席が必要	欠格条件

◎：極めて重視する。 ○：重視する。 空欄：評価に加えない。

■**関連科目**：表現基礎（描画）、表現基礎（製図）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：デジタル技術表現を指向しても、図形、色、文字、構成に関する基礎的知識・技術は、手作業によって得られる経験が非常に重要であり、表現活動の思考の基盤と成り得ます。なお、受講には、一括購入する教材（用紙・用具など）の費用が必要です。さらに別途提供する資料を基に製図・着色道具を各自で準備する必要があります。詳細情報は別途提供します。